



## 私の思い出写真館

# ビジョンと 実行力



**古内 耕太郎**

燦ホールディングス(公益社)  
取締役社長

私は大学卒業後、外資系保険会社に入社し、事務や営業部門で仕事をしていました。ある時、営業成績の報奨でアメリカ本社研修に行かせていただきました。その時受けたMBA研修がきっかけで、それ以降、ビジネスのフレームワークや経営に関心を持つようになりました。そして、経営手法に関する書籍を読み、仕事に活かすようになりました。すると、自分の経験や感性を主体に仕事をしていたころよりもスピーディに大きな成果が出せるようになり、仕事は「芸術と科学のバランスとそのアプローチ」が大切だと感じるようになりました。

MBA取得にも関心を持ちましたが、会社を退職して自費でビジネススクールに通うのは、すでに家族を持つ私には難しい課題でした。しかし、幸運にも会社でビジネススクールへの留学制度が新設されたのです。私は、迷わず応募し、慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBAコース)に通うことができました。

写真はそのころの私です。スーツではなく、毎日私服で大学院に通い、お酒も飲まず睡眠時間3時間くらいの生活が2年間続きました。ちょうど、入学時に長男が生まれ、夜泣きをする子どもを背に、予習していたことを思い出します。つらい2年間でしたが、人生で一番思考し、学



1998年  
アメリカ本社研修、ニューヨークにて



1998年 ビジネススクールに通う朝、2歳の長男と

んだ期間でした。このころに将来経営者を目指すことを志したのです。

大学院修了後は会社に戻り、1999年に当時はまだ珍しいEビジネス部門を立ち上げました。翌2000年には日本初のインターネット専用保険販売会社を立ち上げ、その経営に携わることができました。

当時は、家に帰る時間を惜しみ、新たなビジネスモデル構築や会社経営に没頭していました。その後、事業も順調に推移し、ベンチャービジネスを立ち上げる経験ができたことは、大きな財産になったと思います。

40歳を迎えてからは、本質的に経営者を目指すようになり、エグゼクティブサーチ会社のご紹介で今の燦ホールディングスに転職しました。保険業界から葬祭業界ということで、最初は戸惑うことも多々ありましたが、志と誠意、そしてビジネスのフレームワークがあれば、仕事はどこでもできると考えて努力を重ね、5年前に代表取締役に就任させていただきました。

今、思うことは、「ビジョンを持つこと」と「実行すること」ができれば人生は数年で変わる、ということです。経営者になった今、そのことを多くの人に伝える活動を積極的に行っています。